

- 問1 日本に旧石器時代があったことを示すきっかけとなった、群馬県にある遺跡の名前は何か。
- 問2 7世紀後半から8世紀初めにかけて、日本が「律令」という法律を整えた一番の目的は何か。
- 問3 平安時代を代表する随筆（ずいひつ）である「枕草子」を書いた人物はだれですか。
- 問4 全国各地に大きなお墓がつくられた時代のことを何といいますか。
- 問5 奈良時代に、聖武天皇が仏教の力を使って国を守ろうとして、奈良の都に建てた有名なお寺は何でしょう。
- 問6 藤原氏が栄えたころに、都の貴族を中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化を何といいますか。
- 問7 高床倉庫は、あるものから米を守り、安全にたくわえておくために床を高くしてつくられました。守ろうとした「あるもの」とは何ですか。
- 問8 1159年におこった平治の乱で平清盛を中心とする平氏が勝利したことにより、平氏はだれにかわって政治の実権をにぎるきっかけをつくりましたか。
- 問9 奈良時代の農民が、都から遠く離れた場所へ兵士として送られたり、土木工事にかり出されたりしたのはなぜですか。
- 問10 女王の卑弥呼がおさめていた邪馬台国は、およそいくつの国を従えていましたか。
- 問11 縄のようなもようがあり、食べ物を煮たり、たくわえたりするために使われた、縄文時代の道具は何ですか。
- 問12 日本で最初の本格的な都である藤原京は、どこの国の都にならってつくられましたか。
- 問13 不安定な世の中を仏教の力でしずめようと考え、国分寺の建立や大仏づくりを命じた天皇はだれですか。
- 問14 源氏と平氏の武士団が、朝廷から重く用いられるようになったのはどのような理由からですか。
- 問15 奈良時代に、多くの民衆の協力をあつめて大仏づくりに大きく貢献した僧侶はだれでしょう。
- 問16 古墳の内部にある石室には、遺体と一緒にどのようなものが納められましたか。
- 問17 平清盛が広島県廿日市市にある世界遺産の厳島神社をあつく信仰したのは、この神社をどのような存在としてあがめていたからですか。
- 問18 大和朝廷は、どのような人々が連合してつくった、強大な力をもつ国ですか。
- 問19 奈良時代の人々が、荷物などのメモ書きに紙ではなく「木」を使っていた主な理由は何だと考えられますか。
- 問20 604年に定められた、政治を行う役人の心構えを示したきまりは何ですか。
- 問21 平治の乱という戦いに勝ち、武士として初めて「太政大臣（だいじょうだいじん）」という高い位について政治の実権をにぎった人物はだれですか。
- 問22 3世紀の前半に、女王の卑弥呼が30ほどの国を従えておさめていた国はどこですか。
- 問23 奈良時代につくられた、日本で最も古いとされる和歌集の名前は何か。

## 答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 岩宿遺跡	群馬県にある岩宿遺跡は、日本における旧石器時代の存在を明らかにした重要な遺跡です。
問2	答え 天皇を中心とした強い国づくりを進めるため	当時の日本は、唐（中国）などの進んだ国に対抗するため、国のきまり（律令）を全国で統一し、天皇を中心として国全体をまとめる仕組み（中央集権国家）を目指しました。律令は、税金の集め方や役人の働き方などを定めた大切なルールブックでした。
問3	答え 清少納言	「枕草子」は、平安時代に清少納言によって書かれた作品です。
問4	答え 古墳時代	全国各地に古墳と呼ばれる大きなお墓がつくられた時代を古墳時代と呼びます。
問5	答え 東大寺	聖武天皇は、仏教の力を信じ、国を平和にしようと考えました。その中心として奈良に建てられたのが東大寺であり、そこには巨大な大仏が作られました。国分寺（こくぶんじ）が日本各地に建てられたのとあわせて、奈良時代の仏教を象徴する施設です。
問6	答え 国風文化	藤原氏が栄えたころに都の貴族を中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化を国風文化といいます。
問7	答え 湿気	高床倉庫は、収穫した米を湿気などから守るために、床を高くしてつくられました。
問8	答え 藤原氏	平治の乱で勝利した平氏は、それまで政治を行っていた藤原氏にかわって、新しく政治の実権をにぎるようになりました。
問9	答え 国から決められた義務として働く必要があったから	当時の農民は、自分の土地で農業を行うことに加えて、国に対して決まった義務を果たすことが強く求められていました。そのため、都の建設や寺院の建立、辺境の守りなどの大変な仕事も、国からの命令があれば逆らうことなく従わなければなりませんでした。
問10	答え 30ほどの国	邪馬台国は、女王の卑弥呼が30ほどの国を従えておさめていた国です。
問11	答え 縄文土器	縄のもようがある土器のことで、煮炊きをしたり、食物をたくわえたりするのに使われました。
問12	答え 唐（中国）	藤原京は、当時の中国である「唐」の都の仕組みを取り入れてつくられました。
問13	答え 聖武天皇	不安定な世の中を仏教の力でおさめようとして、国分寺の建立や大仏づくりを命じたのは聖武天皇です。
問14	答え 朝廷の命令を受けて、地方の反乱をしずめるなどして活躍したから。	源氏と平氏は、朝廷の命令によって地方の反乱をしずめるなどの役割を果たしたことで、朝廷から重く用いられるようになりました。
問15	答え 行基	行基は民衆から深く信頼されていた僧侶です。聖武天皇が奈良に大仏をつくろうとしたとき、行基が呼びかけたことで、多くの民衆が労働力として大仏づくりに参加しました。なお、鑑真は日本に正式な戒律を伝えるために中国から来日した人物です。
問16	答え 鏡や剣、勾玉	石室には、亡くなった人の遺体とともに、鏡や剣、勾玉などが一緒に納められました。
問17	答え 平氏の守り神	平清盛は、厳島神社を平氏一族の繁栄を願うための「平氏の守り神」としてあつく信仰しました。
問18	答え 豪族たち	大和朝廷は、奈良盆地を中心とする大和地方の「豪族」とよばれる有力な人々が連合してつくりました。
問19	答え 紙はとても貴重で高価なものだったから	奈良時代、紙は作るのに大変な手間がかかるため、とても貴重で高価なものでした。そのため、役所の事務手続きや荷物の送り状といった日常の記録には、手に入りやすく丈夫な木片（木簡）が広く使われていたのです。
問20	答え 十七条の憲法	604年に定められた、政治を行う役人の心構えを示したきまりを「十七条の憲法」といいます。
問21	答え 平清盛	平清盛は、平治の乱に勝利したあと、武士として初めて太政大臣になり政治の実権をにぎりました。

---

**問22** **答え**  
邪馬台国

3世紀の前半に、女王の卑弥呼が30ほどの国を従えておさめていた国は邪馬台国です。

---

**問23** **答え**  
万葉集

万葉集は、奈良時代につくられた日本最古（最も古い）の和歌集です。

---

- 問1 3世紀の前半に、女王の卑弥呼が30ほどの国を従えておさめていた国はどこですか。
- 問2 邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏に使いを送ったことによって授けられたものは何ですか。
- 問3 のぼりがまという新しい製法を使ってつくられた、弥生土器よりも薄くてじょうぶな古墳時代の土器は何ですか。
- 問4 源氏と平氏の武士団が、朝廷から重く用いられるようになったのはどのような理由からですか。
- 問5 漢字をもとにしてつくられた、ひらがなやカタカナのことをまとめて何と呼びますか。
- 問6 藤原頼通が現在の京都府宇治市につくった、極楽浄土の教えによる阿弥陀堂は何ですか。
- 問7 奈良時代に、聖武天皇が仏教の力を使って国を守ろうとして、奈良の都に建てた有名なお寺は何でしょう。
- 問8 古墳の内部にある、亡くなった人の遺体をほうむるための部屋を何といいますか。
- 問9 奈良時代の人々が、荷物などのメモ書きに紙ではなく「木」を使っていた主な理由は何だと考えられますか。
- 問10 武士団の中でも特に強い勢力を持ち、朝廷の命令で地方の反乱をしずめるなどして重く用いられた二つの大きな勢力をまとめて何と呼びますか。
- 問11 奈良時代に、中国（唐）から日本へ招かれて仏教の教えを伝えた僧侶はだれでしょう。
- 問12 土地や用水をめぐるむらどうしの争いの中で、強い力をもつようになったむらの指導者のことを何と呼びますか。
- 問13 全国各地に大きなお墓がつくられた時代のことを何といいますか。
- 問14 自分の土地や財産を守るために、集団で武装するようになった豪族や有力な農民などから始まった人々を何と呼びますか。
- 問15 藤原氏が栄えたころに、都の貴族を中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化を何といいますか。
- 問16 平清盛が平氏の守り神としてあつく信仰した、広島県廿日市市にある世界遺産に登録されている神社はどこですか。
- 問17 平安時代は、およそ何年間続いた時代ですか。
- 問18 清少納言によって書かれた、平安時代を代表する随筆（ずいひつ）は何ですか。
- 問19 鑑真が命がけで日本にきた目的は、主に何をするためだったのでしょうか。
- 問20 弥生時代に、収穫した米を湿気などから守り、安全にたくわえておくために床を高くしてつくられた倉庫を何といいますか。
- 問21 唐（中国）の都にならって奈良県につくられた、日本で最初の本格的な都はどこですか。
- 問22 聖武天皇が東大寺の大仏をつくることを命じたのは、どのような目的からですか。

## 答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 邪馬台国	3世紀の前半に、女王の卑弥呼が30ほどの国を従えておさめていた国は邪馬台国です。
問2	答え 倭王の称号や金印	卑弥呼は中国の魏に使いを送り、交流の証しとして倭王の称号や金印などを授けられました。
問3	答え 須恵器	のぼりがまという新しい製法でつくられた、薄くてじょうぶな土器を須恵器といいます。
問4	答え 朝廷の命令を受けて、地方の反乱をしずめるなどして活躍したから。	源氏と平氏は、朝廷の命令によって地方の反乱をしずめるなどの役割を果たしたことで、朝廷から重く用いられるようになりました。
問5	答え かな文字	漢字をもとにしてつくられた、ひらがなやカタカナのことを「かな文字」といいます。
問6	答え 平等院鳳凰堂	藤原頼通が京都府宇治市に建てた、極楽浄土の教えに基づく阿弥陀堂を平等院鳳凰堂といいます。
問7	答え 東大寺	聖武天皇は、仏教の力を信じ、国を平和にしようと考えました。その中心として奈良に建てられたのが東大寺であり、そこには巨大な大仏が作られました。国分寺（こくぶんじ）が日本各地に建てられたのとあわせて、奈良時代の仏教を象徴する施設です。
問8	答え 石室	古墳の内部にある、遺体をほうむるための部屋を石室といいます。この部屋には、鏡や剣、勾玉なども一緒に納められました。
問9	答え 紙はとても貴重で高価なものだったから	奈良時代、紙は作るのに大変な手間がかかるため、とても貴重で高価なものでした。そのため、役所の事務手続きや荷物の送り状といった日常の記録には、手に入りやすく丈夫な木片（木簡）が広く使われていたのです。
問10	答え 源氏と平氏	武士団の中で特に勢力を伸ばし、朝廷の命令で反乱をしずめるなどして活躍した二大勢力を「源氏と平氏」と呼びます。
問11	答え 鑑真	鑑真は、当時の中国（唐）から、日本の人々に仏教の正しい教えやルールを伝えるためにやってきました。何回もの危険な航海を乗り越えて日本にたどり着いたことでも有名です。
問12	答え 豪族	土地や用水をめぐる争いを通じて、むらをまとめ、強い力をもつようになった指導者を豪族と呼びます。
問13	答え 古墳時代	全国各地に古墳と呼ばれる大きなお墓がつくられた時代を古墳時代と呼びます。
問14	答え 武士	自分の土地や財産を守るために武装した豪族や有力な農民が、武士の始まりです。
問15	答え 国風文化	藤原氏が栄えたころに都の貴族を中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化を国風文化といいます。
問16	答え 厳島神社	広島県廿日市市にある厳島神社は、平清盛が平氏の守り神としてあつく信仰したことで知られる世界遺産です。
問17	答え 約400年間	平安時代は、平安京に都が移されてから鎌倉に幕府ができるまでの約400年間のことです。
問18	答え 枕草子	清少納言によって書かれた、平安時代を代表する随筆は「枕草子」です。
問19	答え 仏教の正しいルールや教えを広めるため	当時の日本には、仏教の教えを正しく守るための「戒律（かいりつ）」というルールがしっかりと整っていませんでした。鑑真は、仏教を正しく学びたいという日本の僧侶たちの願いに応じて、厳しいルールを正しく伝えるために来日しました。
問20	答え 高床倉庫	収穫した米を湿気などから守り、安全にたくわえておくために床を高くしてつくられた倉庫を高床倉庫といいます。
問21	答え 藤原京	唐（中国）の都を手本にして奈良県につくられた、日本で最初の本格的な都は藤原京です。
問22	答え 仏教の力で国を守るため	聖武天皇は、仏教の力で国を守ることを目的として、東大寺の大仏をつくることを命じました。

- 問1 奈良時代に、中国（唐）から日本へ招かれて仏教の教えを伝えた僧侶はだれでしょう。
- 問2 604年に定められた、政治を行う役人の心構えを示したきまりは何ですか。
- 問3 聖徳太子は、どのような豪族と協力して天皇中心の新しい国づくりを進めようとしたか。
- 問4 古墳時代とは、どのような時代ですか。
- 問5 藤原氏が栄えたころに、都の貴族を中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化を何といいますか。
- 問6 645年に中大兄皇子や中臣鎌足らが蘇我氏をたおし、天皇を中心とする国づくりを始めた政治の改革を何といいますか。
- 問7 奈良時代の役所や遺跡からたくさん見つかった、荷物につけられた「木の札」のことを何といいますか。
- 問8 縄文土器と比べて薄くて硬いという特徴があり、弥生時代に使われるようになった土器は何ですか。
- 問9 須恵器をつくるときに使われた、新しい製法の設備は何ですか。
- 問10 聖徳太子が仏教を信仰し、国を平和にしようとして奈良県に建てた、世界最古の木造建築物がある寺はどこですか。
- 問11 聖武天皇が、全国の国ごとに「国分寺」を建てるよう命じた一番の目的は何ですか。
- 問12 奈良時代に、聖武天皇の命令によって「国ごとに建設」されることになった寺院の名前は何かですか。
- 問13 寝殿造は、どのような人たちが住んだ大きなやしきの建築様式ですか。
- 問14 平清盛が平氏の守り神としてあつく信仰した、広島県廿日市市にある世界遺産に登録されている神社はどこですか。
- 問15 打製石器が使われていたのは、何という時代ですか。
- 問16 鑑真が命がけで日本に来た目的は、主に何をするためだったのでしょうか。
- 問17 武士団の中でも特に強い勢力を持ち、朝廷の命令で地方の反乱をしずめるなどして重く用いられた二つの大きな勢力をまとめて何と呼びますか。
- 問18 平安時代に、貴族が住んだ大きなやしきの建築様式を何といいますか。
- 問19 4世紀ごろ、奈良盆地を中心とする大和地方の豪族たちが連合してつくった、強大な力をもつ国のことを何といいますか。
- 問20 かな文字を使って『枕草子』という随筆を書いた人物はだれですか。
- 問21 古墳時代に、大和朝廷を率いていた王のことを何とよびますか。
- 問22 聖武天皇が東大寺に巨大な大仏をまつた、一番の目的は何だと考えられますか。
- 問23 奈良時代は、平城京に都がつくられてから都が京都に移されるまで、およそ何年間続いた時代ですか。

## 答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 鑑真	鑑真は、当時の中国（唐）から、日本人々に仏教の正しい教えやルールを伝えるためにやってきました。何回もの危険な航海を乗り越えて日本にたどり着いたことでも有名です。
問2	答え 十七条の憲法	604年に定められた、政治を行う役人の心構えを示したきまりを「十七条の憲法」といいます。
問3	答え 蘇我氏	聖徳太子は、当時の有力な豪族であった蘇我氏と協力して、新しい国づくりを進めました。
問4	答え 全国各地に古墳がつくられた時代	古墳時代は、全国各地に古墳と呼ばれる大きなお墓がつくられた時代のことです。
問5	答え 国風文化	藤原氏が栄えたころに都の貴族を中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化を国風文化といえます。
問6	答え 大化の改新	645年に中大兄皇子や中臣鎌足らが始めた、天皇中心の国づくりを目指す政治の改革を大化の改新といえます。
問7	答え 木簡	木に文字を書いて記録する道具を「木簡（もっかん）」といえます。当時はまだ紙がとても貴重で高価だったため、荷物の送り主や中身を書くために木片が使われていました。この木簡のおかげで、当時の人たちがどのような生活をしていたのかを詳しく知ることができません。
問8	答え 弥生土器	弥生時代に使われるようになった、縄文土器よりも薄くて硬い土器を弥生土器といえます。
問9	答え のぼりがま	須恵器は、のぼりがまという新しい設備を使った製法でつくられたことが特徴です。
問10	答え 法隆寺	聖徳太子が奈良県に建てた法隆寺には、世界で最も古い木造の建物が残されています。
問11	答え 仏教の力で国を安定させるため	聖武天皇は、当時の社会が不安定で人々の不安が大きかったことから、仏教の力によって国全体を平和で安定した状態にしようと考えました。そのため、日本各地の「国」ごとに国分寺というお寺を建てることを命じ、仏教を通じた国づくりを進めました。
問12	答え 国分寺	聖武天皇が全国に建てるよう命じたのは国分寺です。東大寺は国分寺の総本山として特別な役割を持っていましたが、国分寺という名称自体は、全国各地に建てられた寺院を指す言葉です。
問13	答え 貴族	寝殿造は、平安時代の貴族が住むための大きなやしきの建築様式です。
問14	答え 厳島神社	広島県廿日市市にある厳島神社は、平清盛が平氏の守り神としてあつく信仰したことで知られる世界遺産です。
問15	答え 旧石器時代	打製石器は、旧石器時代に使われていた石器です。
問16	答え 仏教の正しいルールや教えを広めるため	当時の日本には、仏教の教えを正しく守るための「戒律（かいりつ）」というルールがしっかりと整っていませんでした。鑑真は、仏教を正しく学びたいという日本の僧侶たちの願いに応じて、厳しいルールを正しく伝えるために来日しました。
問17	答え 源氏と平氏	武士団の中で特に勢力を伸ばし、朝廷の命令で反乱をしずめるなどして活躍した二大勢力を「源氏と平氏」と呼びます。
問18	答え 寝殿造	平安時代に貴族が住んだ、大きなやしきの建築様式を寝殿造といえます。
問19	答え 大和朝廷	4世紀ごろに奈良盆地を中心とする豪族たちが協力してつくった、強い力をもつ国を大和朝廷といえます。
問20	答え 清少納言	かな文字を使って『枕草子』という随筆を書いた人物は、清少納言です。
問21	答え 大王	古墳時代に大和朝廷をまとめていた王は「大王（おおきみ）」とよばれていました。
問22	答え 仏教の力で国を平和に守るため	当時の日本は、病気やききんなどが続き、社会が不安定でした。聖武天皇は、仏教の教えを大切にしてお寺や大仏を建てることで、仏様の力によって国を平穏で幸せな場所にしよう

と強く願ったのです。

---

**問23** **答え**  
約80年間

奈良時代は、平城京に都がつくられてから都が京都に移されるまでの約80年間の時代です。

---

- 問1 縄文時代に作られた土偶は、どのような目的で使われたと考えられていますか。
- 問2 平安時代を代表する随筆（ずいひつ）である「枕草子」を書いた人物はだれですか。
- 問3 清少納言によって書かれた、平安時代を代表する随筆（ずいひつ）は何ですか。
- 問4 古墳の中に、武器や祭りの道具などが一緒に納められたのはなぜだと考えられていますか。
- 問5 武士団の中でも特に強い勢力を持ち、朝廷の命令で地方の反乱をしずめるなどして重く用いられた二つの大きな勢力をまとめて何と呼びますか。
- 問6 奈良時代に、聖武天皇が仏教の力を使って国を守ろうとして、奈良の都に建てた有名なお寺は何でしょう。
- 問7 聖徳太子たちが、中国の進んだ文化や学問、政治のしくみを取り入れるために、小野妹子らを送った使節を何といいますか。
- 問8 7世紀後半から8世紀初めにかけて、日本が「律令」という法律を整えた一番の目的は何ですか。
- 問9 古墳の時代に作られたものの中で、四角と円を組み合わせたような形が特徴的な、代表的な古墳の形を何といいますか。
- 問10 聖徳太子は、どのような豪族と協力して天皇中心の新しい国づくりを進めようとしたか。
- 問11 中大兄皇子とともに大化の改新を始めた中臣鎌足が、のちに名乗るようになった名字（氏）は何ですか。
- 問12 1159年におこった戦いで、勝利した平清盛を中心とする平氏が、藤原氏にかわって政治の実権をにぎるきっかけとなった出来事は何ですか。
- 問13 奈良時代の律令制度において、農民が収穫した稲の約3パーセントを国に納める税のことを何といいますか。
- 問14 かな文字を使って『枕草子』という随筆を書いた人物はだれですか。
- 問15 奈良時代につくられた、日本で最も古いとされる和歌集の名前は何か。
- 問16 794年に、不安定だった政治を立て直すために京都につくられた都は何ですか。
- 問17 のぼりがまという新しい製法を使ってつくられた、弥生土器よりも薄くてじょうぶな古墳時代の土器は何ですか。
- 問18 関白という役職は、天皇がどのような状態のときに、天皇を助けて政治をおこなうものですか。
- 問19 昔の税制度である「租」が、当時の国にとってどのような役割を果たしていたといえますか。
- 問20 奈良時代に、多くの民衆の協力をあつめて大仏づくりに大きく貢献した僧侶はだれでしょう。
- 問21 平清盛が武士として初めて就任した「太政大臣」とは、どのような役職ですか。
- 問22 女王の卑弥呼がおさめていた邪馬台国は、およそいくつの国を従えていましたか。
- 問23 平安時代を代表する小説である「源氏物語」は、どのような文字を使って書かれましたか。
- 問24 石を打ちかいてつくった石器で、旧石器時代に使われていたものは何ですか。

## 答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 魔よけなど	土偶は、魔よけなどのために使われたと考えられています。
問2	答え 清少納言	「枕草子」は、平安時代に清少納言によって書かれた作品です。
問3	答え 枕草子	清少納言によって書かれた、平安時代を代表する随筆は「枕草子」です。
問4	答え 亡くなった人の権力を示すため	古墳に納められた武器や道具は「副葬品」と呼ばれます。これらは、亡くなった人が生前どれほど力を持っていたかや、どのような役割を担っていたかを示すために、豪華なものが選ばれました。あくまで有力者の権威をあらわすためのものです。
問5	答え 源氏と平氏	武士団の中で特に勢力を伸ばし、朝廷の命令で反乱をしずめるなどして活躍した二大勢力を「源氏と平氏」と呼びます。
問6	答え 東大寺	聖武天皇は、仏教の力を信じ、国を平和にしようと考えました。その中心として奈良に建てられたのが東大寺であり、そこには巨大な大仏が作られました。国分寺（こくぶんじ）が日本各地に建てられたのとあわせて、奈良時代の仏教を象徴する施設です。
問7	答え 遣隋使	中国の「隋」という国に送られた使節なので、遣隋使といいます。小野妹子らが代表として送られました。
問8	答え 天皇を中心とした強い国づくりを進めるため	当時の日本は、唐（中国）などの進んだ国に対抗するため、国のきまり（律令）を全国で統一し、天皇を中心として国全体をまとめる仕組み（中央集権国家）を目指しました。律令は、税金の集め方や役人の働き方などを定めた大切なルールブックでした。
問9	答え 前方後円墳	前方後円墳は、四角い部分と丸い部分が組み合わさった独特な形をした古墳です。この形は当時の日本の有力者の間でひろまり、権力者が自分の強さをアピールする手段として各地で作られました。
問10	答え 蘇我氏	聖徳太子は、当時の有力な豪族であった蘇我氏と協力して、新しい国づくりを進めました。
問11	答え 藤原	中臣鎌足は、のちに「藤原」という名字（氏）を与えられ、藤原鎌足と呼ばれるようになりました。
問12	答え 平治の乱	1159年におこった平治の乱で平清盛が勝利したことにより、平氏が政治の実権をにぎるきっかけとなりました。
問13	答え 租	律令制度のもとで定められた「租」は、農民が収穫した稲の一部を国に納める基本的な税のことです。他の税には、布などを納める「調」や、都での労働を義務づける「庸」などがありましたが、収穫した稲を納めるものは「租」と呼ばれていました。
問14	答え 清少納言	かな文字を使って『枕草子』という随筆を書いた人物は、清少納言です。
問15	答え 万葉集	万葉集は、奈良時代につくられた日本最古（最も古い）の和歌集です。
問16	答え 平安京	794年に、不安定だった政治を立て直すために京都につくられた都を平安京といいます。
問17	答え 須恵器	のぼりがまという新しい製法でつくられた、薄くてじょうぶな土器を須恵器といいます。
問18	答え 天皇が成長したとき	閑白は、天皇が成長したあとに、天皇を補佐して政治の実権をにぎる役職です。
問19	答え 国が使うお米を集めて財政を支える仕組み	「租」は農民が苦労して育てた稲の収穫高から納められるものでした。当時の国は、集められた大量の稲を国家の財政を支える大切な資源として活用し、国としての仕組みを整えていました。
問20	答え 行基	行基は民衆から深く信頼されていた僧侶です。聖武天皇が奈良に大仏をつくろうとしたとき、行基が呼びかけたことで、多くの民衆が労働力として大仏づくりに参加しました。なお、鑑真は日本に正式な戒律を伝えるために中国から来日した人物です。
問21	答え 朝廷の最高位の役職	太政大臣は朝廷における最も高い位の役職で、平清盛は武士の身分からこの地位にのぼりつめました。

---

<b>問22</b>	<b>答え</b> 30ほどの国	邪馬台国は、女王の卑弥呼が30ほどの国を従えておさめていた国です。
<b>問23</b>	<b>答え</b> かな文字	源氏物語は、当時の日本で使われ始めた「かな文字」を使って書かれているのが特徴です。
<b>問24</b>	<b>答え</b> 打製石器	石を打ちかいてつくった石器を打製石器と呼び、旧石器時代に使われていました。

---

- 問1 政治や大陸の文化を学ぶために、唐（中国）へ送られた使節や留学生のことを何といいますか。
- 問2 源氏と平氏の武士団が、朝廷から重く用いられるようになったのはどのような理由からですか。
- 問3 平清盛が兵庫の港を修理して、中国の国である宋との間で行った取引のことを何といいますか。
- 問4 中大兄皇子とともに大化の改新を始めた中臣鎌足が、のちに名乗るようになった名字（氏）は何ですか。
- 問5 聖徳太子たちが、中国の進んだ文化や学問、政治のしくみを取り入れるために、小野妹子らを送った使節を何といいますか。
- 問6 聖徳太子らが定めた冠位十二階は、それまでの家柄にとらわれず、どのようなことを基準にして役人を取り立てるためのしくみですか。
- 問7 青森県にある三内丸山遺跡は、どのような遺跡ですか。
- 問8 漢字をもとにしてつくられた、ひらがなやカタカナのことをまとめて何と呼びますか。
- 問9 奈良時代の役所や遺跡からたくさん見つかった、荷物につけられた「木の札」のことを何といいますか。
- 問10 唐（中国）の都にならって奈良県につくられた、日本で最初の本格的な都はどこですか。
- 問11 昔の大きな墓である「古墳」のまわりに立て並べられた、土で作られた人形や家の形をしたものを何といいますか。
- 問12 弥生時代に、収穫した米を湿気などから守り、安全にたくわえておくために床を高くしてつくられた倉庫を何といいますか。
- 問13 石を打ちかいてつくった石器で、旧石器時代に使われていたものは何ですか。
- 問14 金属器のうち、銅鐸や銅ほこなどの青銅器は、当時どのような目的で使われたと考えられていますか。
- 問15 奈良時代につくられた「万葉集」は、どのような特徴をもつ作品ですか。
- 問16 縄文時代の人々が暮らしていた、地面をほって柱を立ててつくった住居を何といいますか。
- 問17 縄文時代に作られた、土で作られた人形のことを何といいますか。
- 問18 四角形と円形を組み合わせた形をした、古墳時代につくられたお墓を何といいますか。
- 問19 武士たちが、力の強い者をかしらにしてつくった集団のことを何といいますか。
- 問20 平城京のまちづくりにおいて、手本とされたのはどこの国の都ですか。
- 問21 邪馬台国の女王で、人々をひきつける不思議な力をもち、中国の魏に使いを送って金印などを授けられたのはだれですか。
- 問22 聖徳太子が小野妹子らを遣隋使として中国に送ったのは、どのような目的のためですか。
- 問23 聖武天皇が東大寺に巨大な大仏をまつた、一番の目的は何だと考えられますか。

## 答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 遣唐使	唐（中国）の進んだ政治や文化を学ぶために日本から送られた使節や留学生のことを、遣唐使といいます。
問2	答え 朝廷の命令を受けて、地方の反乱をしずめるなどとして活躍したから。	源氏と平氏は、朝廷の命令によって地方の反乱をしずめるなどの役割を果たしたことで、朝廷から重く用いられるようになりました。
問3	答え 宋との貿易	平清盛が兵庫の港（現在の神戸港）を修理して、中国（宋）との間で行った貿易のことを「宋との貿易」といいます。
問4	答え 藤原	中臣鎌足は、のちに「藤原」という名字（氏）を与えられ、藤原鎌足と呼ばれるようになりました。
問5	答え 遣隋使	中国の「隋」という国に送られた使節なので、遣隋使といいます。小野妹子らが代表として送られました。
問6	答え 個人の能力や功績	冠位十二階は、生まれた家柄に関係なく、本人の能力や仕事での功績（がんばりや成果）を基準にして役人を取り立てるための制度です。
問7	答え 縄文時代の建物の跡が発見された遺跡	三内丸山遺跡は、青森県にある縄文時代の建物の跡が発見された遺跡です。
問8	答え かな文字	漢字をもとにしてつくられた、ひらがなやカタカナのことを「かな文字」といいます。
問9	答え 木簡	木に文字を書いて記録する道具を「木簡（もっかん）」といいます。当時はまだ紙がとても貴重で高価だったため、荷物の送り主や中身を書くために木片が使われていました。この木簡のおかげで、当時の人たちがどのような生活をしていたのかを詳しく知ることができます。
問10	答え 藤原京	唐（中国）の都を手本にして奈良県につくられた、日本で最初の本格的な都は藤原京です。
問11	答え 埴輪	古墳の周囲に立て並べられた素焼きの土製品は「埴輪（はにわ）」と呼ばれます。土偶は主に縄文時代に作られたもので、古墳時代に作られた埴輪とは時代が異なります。
問12	答え 高床倉庫	収穫した米を湿気などから守り、安全にたくわえておくために床を高くしてつくられた倉庫を高床倉庫といいます。
問13	答え 打製石器	石を打ちかいてつくった石器を打製石器と呼び、旧石器時代に使われていました。
問14	答え 豊作を祈るため	銅鐸や銅ほこなどの青銅器は、豊作を祈るための祭りなどで使われたと考えられています。
問15	答え 日本で最も古いとされる和歌集であること	万葉集は、奈良時代につくられた日本最古の和歌集として知られています。
問16	答え 竪穴住居	縄文時代の人々は、地面をほって柱を立ててつくった「竪穴住居」に暮らしていました。
問17	答え 土偶	縄文時代に土で作られた人形のことを土偶といいます。
問18	答え 前方後円墳	四角形と円形を組み合わせた特徴的な形をした古墳を、前方後円墳といいます。
問19	答え 武士団	武士たちが力の強い者をかしらにしてつくった集団を「武士団」といいます。
問20	答え 中国（唐）の長安	当時の日本は、中国の進んだ政治や文化を取り入れていました。平城京は、中国の都である長安を手本にして、道路をごぼんの目のように整然と区切ってつくられた計画的な都市です。
問21	答え 卑弥呼	卑弥呼は邪馬台国を治めた女王で、不思議な力で人々をまとめ、中国の魏から倭王の称号や金印を授けられました。
問22	答え 中国の文化や学問、政治のしくみを取り入れる	遣隋使は、当時の中国（隋）の進んだ文化や学問、政治のしくみを日本に学んで取り入れるために送られました。

ため

---

**問23 答え**

仏教の力で国を平和に守るため

当時の日本は、病氣やききんなどが続き、社会が不安定でした。聖武天皇は、仏教の教えを大切にしてお寺や大仏を建てることで、仏様の力によって国を平穏で幸せな場所にしようと強く願ったのです。

---